

令和3年度病虫害発生予察情報 発生予報第4号

令和3年7月15日
発表：福島県病虫害防除所

普通作物

作物名	病虫害名	地方	発生時期	発生量	予報の根拠	防除上注意すべき事項
水 稲	いもち病 (穂いもち)	全 域	やや早い	平年並	<p>作柄解析試験の結果によると、本年は出穂期がやや早いと予想される。</p> <p>7月上旬の巡回調査では、葉いもちの「全般発生開始期」の発生ほ場割合は、平年並であった(±)。</p> <p>BLASTAM において感染好適条件が広域で出現している(+)</p> <p>天候予報(7月8日発表1か月予報)によると、気温が高く、降水量は平年並と予想されている(-)。</p>	上位葉に病斑が見られる場合は、薬剤防除を実施して、穂への感染を防ぐ。
	紋 枯 病	全 域	平年並	平年並	<p>前年の発生ほ場割合は平年よりやや低かった(-)。</p> <p>天候予報によると、気温が高く、降水量は平年並と予想されている(+)</p>	<p>過剰な窒素施用や、過繁茂をさける。</p> <p>水面施用剤は出穂前、散布剤は穂ばらみ期～穂揃期に施用する。</p> <p>高温が続くと、上位葉鞘に伸展しやすいため、例年発生が多いほ場では注意する。</p>
	イネツトムシ	全 域	平年並	平年並	7月上旬の発生状況は平年並であった(±)。	窒素の多用や直播栽培、葉色の濃い品種で発生しやすいので注意する。

注) 予報の根拠の中で (+) は多発要因、(-) は少発要因、(±) は平年並要因であることを示す。

○注意が必要な病虫害

水 稲	<p>■稲こうじ病</p> <p>出穂期が早まると予想されるため、防除時期が遅れないよう実施してください。</p> <p><u>なお、銅を含む薬剤の使用は出穂10日前までとし、葉が濡れている場合は葉害が出やすいため注意しましょう。</u></p>
	<p>■斑点米カメムシ類</p> <p>出穂期が早まると予想されるため、畦畔の除草は早急に完了してください。</p>

より詳しい発生状況や防除対策は、

福島県病虫害防除所ホームページ<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>をご覧ください。

お問い合わせはTEL:024-958-1709、FAX:024-958-1727またはe-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jpへお願いします。

◆福島県では6月10日から9月10日まで令和3年度農薬危害防止運動を実施しています◆
農薬を使用する際は、ラベルをよく読んで正しく使用しましょう。